

ぽーれぽーれ(Pole pole)
 スワヒリ語で
 「ゆっくり…」
 という意味です

ぽれぽれしター ぽれぽれしター

第36号
 2018.05.02

医療コラム ～診療情報管理部の紹介～

理念

「人とよりそう ひらかれた病院」

病院基本方針

※安心・安全な医療を提供します
 ※医療連携を進め、地域医療に貢献します
 ※豊かな人間性を持った医療人を育成します

診療案内

内科 外科 脳神経外科
 整形外科 耳鼻咽喉科
 婦人科 泌尿器科 放射線科
 消化器科 緩和ケア科
 乳腺外科 腫瘍外科 腫瘍内科

【診療受付時間】
 平日 午前8:30～午後4:00
 土曜 午前8:30～正午

【診療時間】
 平日 午前9:00～午後4:00
 土曜 午前9:00～正午

【外来の休診日】
 日曜・祝日・年末年始

【お見舞い時間】
 正午～午後8:00



診療情報管理部は、現在、診療情報管理士2名で業務を行っています。今回は、診療情報管理部で行っている主な三つの業務を紹介します。

一つ目は、診療情報管理業務です。診療情報管理業務は、診療記録や診療情報を適切に管理し、情報の活用や提供を行なう業務です。

業務の内容は、

- ①診療記録等の点検業務（診療記録などに不備がないか点検する業務）
- ②診療記録の保管管理（診療記録の紛失防止や、必要時速やかに提供できるように管理、保管を行なう業務）
- ③診療記録の中にある情報の管理（診療記録から必要な情報を収集したり、疾患や手術を国際疾病分類などの分類法を利用したりして、データベース等を作成する業務）
- ④統計資料の作成 等があります。

診療記録は、医療スタッフ間で情報共有を行なうために必要な記録で、チーム医療には欠かせません。診療情報管理部では、より質の高い診療記録にするために、委員会を開催し、多職種で診療記録に関する検討を行っています。

二つ目は、院内がん登録業務です。院内がん登録業務は、当院に「がん」や「一部の良性腫瘍や境界型悪性腫瘍」の診断や治療等を目的に来院された患者さんの情報を登録する業務です。患者情報や、腫瘍情報、初回治療情報等を登録します。平成28年より「がん登録等の推進に関する法律」が施行され、病院は、法律で定められた原発性のがんに関する情報を届け出ることが義務化されました。そのため、当院では、診療情報管理部が、院内がん登録の情報をういて届出を行っています。



三つ目は、診療情報の開示に関する業務です。診療情報の開示に関する業務では、診療情報の開示を希望される方の、申請の受付や、開示の準備、開示時の対応を行なっています。

この他にも業務はありますが、主な三つの業務を紹介しました。

診療記録や診療情報は、病院運営に欠かせない情報です。また、患者さんの大切な記録・情報であり、プライバシーに関する情報でもあります。今後も、診療記録や診療情報の紛失・漏えいがないように、しっかり管理・改善を行い、患者さんが安心して医療を受けられるよう、陰からではありますが、サポートしていきます。



新入職員紹介



2018年4月、17名の新入職員
 看護師11名
 放射線技師1名
 医師2名
 理学療法士1名
 薬剤師2名
 医事課1名
 が加わりました。



新メンバーを加えると、医師16名、歯科医師1名、看護師119名、薬剤師7名、診療放射線技師11名、臨床検査技師4名、理学療法士4名・言語聴覚士1名、作業療法士1名、臨床工学技士1名、臨床心理士1名、管理栄養師2名、歯科衛生士1名、看護助手16名、クレーン10名、SE1名、診療情報管理士2名、医事課8名、総務4名、地域医療連携3名、秘書1名、保育士9名、労務1名、総勢224名となります。その他、外来診療については約30名の非常勤の先生方にご協力を頂いています。

第4回

図書紹介

緩和ケア科 若山 宏

グループ病院である
 友誼会総合病院が
 新しくなります！

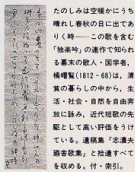
We will relocate in 2018
 and CHANGE



現在、茨木市清水にある友誼会総合病院は2018年9月をめぐりに茨木市西豊川町に移転し、新たに生まれ変わります。

橘曙覧全歌集

水島直文・橋本政宣編注



頁 274
 岩波文庫

橘曙覧全歌集(たちばなあけみ)

幕末の福井の歌人で国学者、男性 岩波文庫

江戸時代末期の第十六代福井藩主、松平慶永(春嶽)は偏見のない人物眼、視野の広さで、坂本龍馬、横井小楠、橋本佐内らを見出し、誠実で人の言葉によく耳を傾ける藩主としてよく知られている。彼は曙覧のあばら家を訪ね、詞を残した。「・・・自分は立派な御殿に住み、足りないものはない生活を送っているが、曙覧の貧しくても文化の薫り高い生活には、とてもかなわない・・・」

独楽吟 たのしみは、で始まる歌集。

清貧生活をユーモアを持って歌い、現代でもとても分かりやすい。

- ・たのしみは 朝起きいでて 昨日まで 無かりし花の 咲けるを見るとき
- ・たのしみは 稀(まれ)に魚(うお)煮て 児等(こら)皆が うまいうまると 言ひて食ふとき
- ・たのしみは そぞろ読みゆく 書(ふみ)の中に われとひとしき 人をみしとき
- ・たのしみは 妻子(めこ)むつまじく うちつどひ 頭(かしら)ならべて 物をくふ時
- ・たのしみは あき米櫃に 米いでき 今ひと月は よしというとき

編集後記：今回の医療コラムは、私の部署で行っている業務の紹介でした。少しでも知っていただけたら幸いです。ほれほれ編集委員一同、H30年度も頑張ってください！！

発行者： 中村仁信（病院長） 〒567-0085 茨木市彩都あさぎ7丁目2番18号
 編集長： 福西康修（放射） TEL072（641）6898 Fax072（641）6097
 編集委員： 村井祐子（医師）岩切昭夫（看護）松澤圭介（看護）常島啓司（情報）
 志田原直子（医事課）東阪真希（放射）

<http://www.saito-yukokai-hp.jp/index.htm>
 「ほれほれ」はホームページからダウンロードできます！